

# 令和6年度 学校評価報告書

丹波篠山市立八上小学校

校長 梅垣 佳代

## 1 学校教育目標等

やさしい心もち 自ら学び みなぎる元気な 児童の育成
----------------------------

## 2 今年度の重点目標

(1) 児童が主体的に学ぶ授業づくりを進め、自己学習力をつける。 (2) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る。 (3) 「生きる力」の核となる豊かな人間性を育てるため、人権教育・道徳教育・特別支援教育を充実させる。 (4) 保護者・地域と協働し、ふるさと「八上」に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探求する。
---

## 3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
重点目標 ふるさと教育	地域の人材や教材を活用し、教科横断的・探究的に「ふるさとキャリア教育」に取り組んでいる。	A	環境体験学習では、地域人材を活用し、栽培・収穫・調理と年間を通じて、総合的な学習の時間を核として、教科横断的・探究的かつ計画的に取り組むことができた。
学習指導	子どもたちが学び合いや対話活動を通して主体的に学ぶ力の育成に取り組んでいる。	A	今年度から毎週水・木曜日の週2回（国・算）全校学び合いを取り入れ、異学年での対話活動を通して、非認知能力の育成に取り組むことができた。
	タブレット端末を活用した学習に取り組んでいる。	B	全ての教科学習において、タブレット端末を活用した学習に取り組むことができた。一方で、基礎学習とのバランスをいかにとっていくかや視力等児童の健康をいかに守っていくか等について次年度考えていきたい。
生活指導	子どもたちが進んであいさつができるように指導している。	B	P T Aや地域との連携とともに、児童会によるP B S（ポジティブ行動支援）活動を中心に取組を進めることができた。しかし、学期途中で停滞していく傾向がみられたので、引き続き年間を通じて気持ちのよいあいさつができる児童を育てていく。

	校内ケース会議などを通して組織的にいじめの未然防止・早期発見・早期対応を全職員で行っている。	B	今年度から教科担任制開始に伴い学年団によるチーム会議を新設した。職員会議やチャット等による全職員への共有も行き、ケースに応じた連携を迅速かつ密にすることができた。今後さらに、保護者・関係機関との連携を図っていく。
安全管理	学習や訓練を実施し防犯意識を高めている。校舎や教室の環境整備に取り組んでいる。	A	避難訓練の他にもシェイクアウト訓練等、年間を通じて実践的かつ効果的な訓練を行うことができた。今後も繰り返し指導を徹底し、訓練したことを日々の生活に生かせるようにしていく。

#### 4 学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

ふるさとである「八上」「丹波篠山」に愛着を持つ教育を、年間を通じて計画的に取り組むことができている。これからも主体的に体験し、学習を深めていく中で、ふるさとを誇ることができる児童の育成に努めてほしい。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・丹波篠山の特産物をいろいろな場面で体験できる工夫ができている。植えて収穫するだけではなく、その間の作業や収穫後に調理したものを調理して地域講師に感謝を伝える活動まで、年間を通して取り組んでいるのがよい。
- ・高城山を中心に、地域に関わる学習を今後もいっそう進めて、深い学びにつながるようにして行ってほしい。
- ・地域やPTA、児童会を中心に、あいさつ運動に積極的に取り組んでいる。取り組んでいることを学校運営協議会委員だけでなく、地域にも知ってもらえるとよい。
- ・タブレット端末を活用した学習に先進的に取り組んでいる。基礎学習とのバランスのとりのり方や視力を守ることも含めより良い使い方について家庭と連携して進めてほしい。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小連携によるみんな遊びや、全校学び合いによる異学年での対話活動など、見えない学力の育成に向けて取り組むことができている。次年度も今の方向性を継続して、より深い学びにつなげていきたい。</li> <li>・児童の将来を見据え、タブレット端末を活用した個別最適な学びを引き続き積極的に進めていくと同時に、読み書きといった基礎的学習力をつけていくことや、視力等児童の心身の健康も大切にした活用について、次年度以降よりよい方策を探り取り組んでいきたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、学校運営協議会による授業参観を実施し、地域コーディネーターを活用した地域人材による学習支援等の協力体制を構築する。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の子どもたちを取り巻く状況から、スマホやタブレット端末を使わずに生活していくことは難しい。また、情報機器は多種多様にあり、一概に制限していくことも困難である。学校と家庭・児童とが一緒になって、ルールの見直しをしたり使い方を考える場をもったりするなど、より安全かつ有意義に活用できる方法を考えていきたい。</li> <li>・地域やP T A、児童会を中心としたあいさつ運動を継続し、経過や成果を発信して啓発に努め、気持ちの良いあいさつをできる児童を育成していく。</li> </ul>
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校安全委員会（P T Aや学校運営協議会）等、外部の視点を取り入れた防災安全点検を進めることができた。次年度は、校舎以外にも学校周辺環境、運動場・遊具などの点検も進めていき、さらなる安全で安心できる学校づくりを進めていきたい。</li> </ul>